



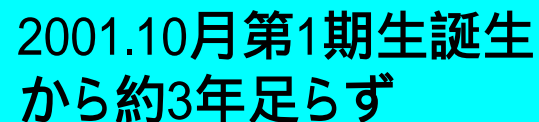
# ITコーディネータ(組織)の活動状況

2004年9月14日  
特定非営利活動法人  
ITコーディネータ協会



ITC  
IT Coordinators Association

**資格認定者 5,440名**



# ITC届出組織(コミュニティ) 112組織

(組合組織: 6、NPO: 12、社団法人: 1)

<http://www.itc.or.jp/press/itcmap/SosikiMap.html>

2004年8月末日現在: 112組織

NPO法人: 13組織  
社団法人: 1組織  
協同組合: 6組織  
任意団体: 92組織

法人格を取得してビジネスに乗り出す組織が急増中

◆地域名をクリックすると組織一覧に飛びます。  
(活動地域: 全国は[こちら](#)、西日本は[こちら](#))

◆MAP上の点の位置は、事務所または連絡先の住所です。



# 1.ITコーディネータの活動状況

1) 連携と創造

2) 成功事例

3) 施策の活用

# 1) 連携と創造

With 地方銀行、商工団体、自治体、第3セクター

## 千葉興業銀行との提携(NPO千葉県ITC)

Copyright © 2004 ITCA. All rights reserved

日経新聞に掲載

4月20日付け

2004年4月より広島ITC協同組合は、広島銀行からIT化支援を希望する取引企業の紹介を受け、**成約時に手数料を支払う提携**を開始した。

同行は4月1日の組織改正で顧客のIT化を支援する「IT推進室」を新設した。システム開発会社6社とも提携しITCの助言に基づき機器やサービスによって業者を選び、納入が決まった場合は業者からも手数料を受け取る。

広島ITコーディネータ協同組合  
普家浩文理事長  
<http://www.h-itc.org/>

# 東京商工会議所で会員企業の 経営革新プロジェクトにITコーディネータを活用



**東商ITウィーク 2003**

事例とノウハウに学ぶ、攻めと守りのIT活用

平成15年  
12月27日(月) 事例発表会  
12月28日(火) セミナー1  
12月29日(水) セミナー2  
12月30日(木) セミナー3

【マーケティング】  
【情報共有】  
【セキュリティ】

東京商工会議所では、経営にITを役立てたいとお考えの中小企業経営者・経営幹部・実務担当者の方を対象に、ITを積極的に活用する「攻め」と、保護対策が必要な「守り」の両方の側面から、これからIT化を進めていくために欠かせないポイントを、事例発表会と3つのセミナーを通じてご提供いたします。ぜひこの機会にご参加ください。

ホームページでも申込受付しています。  
<http://www.tokyo-cci.or.jp/its/it2003/>

東京商工会議所  
The Tokyo Coordinators Association

イベントスケジュール

4社に見る  
ビジネスモデル構築成果発表会

中小企業経営者とITコーディネータのコラボレーションはどのように実践されたか

※このイベントは、12月27日(月)20時30分～21時30分、東京商工会議所(〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1)で開催されます。参加費は無料です。申し込みは、東京商工会議所(TEL:03-5561-1111)まで。

2002年度、2003年度の  
2年間、IT推進委員会  
事業として、ITC10名が  
東商会員企業8社の  
「IT化計画策定」を支援

パネルディスカッション・パネリストの紹介

 <b>原 邦生</b> <small>東京商工会議所 常務理事 IT推進委員会 委員長</small>	 <b>上村 孝昭</b> <small>東京商工会議所 常務理事 IT推進委員会 委員</small>	 <b>川内 蔵宏</b> <small>東京商工会議所 常務理事 IT推進委員会 委員</small>
---	---	---

ホームページでも申込受付しています。詳細、ご照会下さい。  
<http://www.tokyo-cci.or.jp/chok/itsakunavi/it-jirei/index.html>

<http://www.tokyo-cci.or.jp/its/seisakunavi/it-jirei/index.html>

# 連携 県の中⼩企業IT化支援事業を受託(NPO法人ITC愛媛)



平成15年度  
2500万円

愛媛県

高度な情報化支援

(委託)

(委託)

基本的な情報化支援

NPO法人ITC愛媛

- ・ITコーディネータ
- ・ITC補助員(3名×2回)

関係機関  
連絡会議

商工団体

連携・強化

えひめ産業振興財団

- <産業情報センター>
- ・IT化支援員(5名×2回)

(対象 約50社)

(対象 約500社)

(中⼩企業者)

- ・平成14年度に企業訪問を行った企業のうち引き続き情報化支援が必要な企業等
- ・新たに高度な情報化支援が必要な企業等、商工団体等から紹介・依頼を受けた企業等

・愛媛県・ITC愛媛(ITコーディネータ)・産業情報センターの連携による支援体制の構築

NPO法人ITC愛媛

089-922-6844

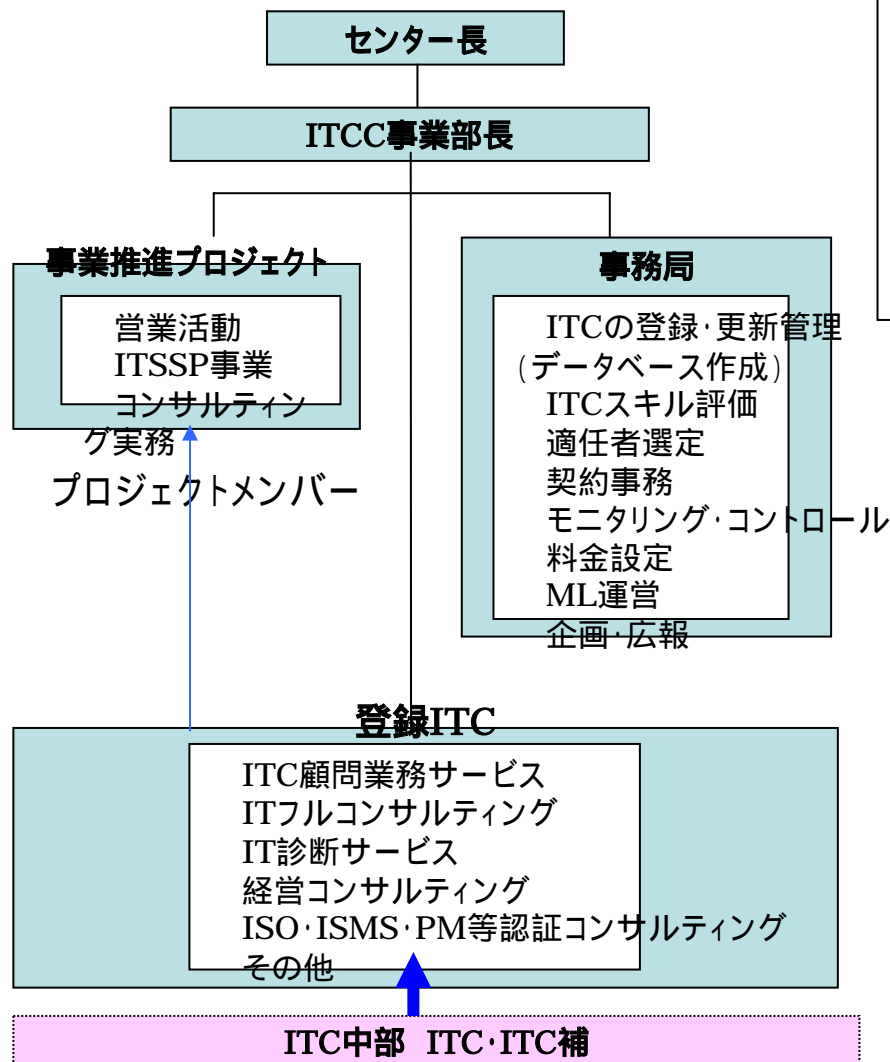
# 連携 港区役所が独自事業で「経営者研修」を実施

平成16年5月～6月(3日間)  
「後継者育成研修」 8社 ～  
自社にあった経営戦略策定体験～  
有料¥3,000 研修であったが、  
**参加経営者から高い評価！**  
好評により秋にも実施予定



「経営者研修」は、ITC協会が教材を開発し、既に全国各地の商工団体や支援センター等で百数十回実施され、好評を得ています。

## SC新事業組織図



地域ソフトウェアセンターの新規事業としてITC顧問契約事業等を運営する「ITコーディネータ・センター」を設置

中部地区のITC約40名が参加登録し、案件に応じてセンターが適格者を選定。すでに13社の企業とのITC顧問契約と2つのIT化プロジェクトを受注し活動中。

(株)名古屋ソフトウェアセンター  
<http://www.nagoya-sc.co.jp/>

## 2) 成功事例

ITコーディネータ活動の成果・活躍の場

# ITコーディネータの支援した昭和電機と東海バネ工業が「2003年関西IT百選」の最優秀企業に(西岡理事が主催「西岡IT塾」参加企業)



特定非営利活動法人

## IT百撰アドバイザー・クラブ

～関西の経済団体共同プロジェクト「関西IT推進本部」が設立した、  
中小企業経営者様のIT・導入活用の取組を支援するNPO法人です。～

ホーム

IT百撰アドバイザー  
クラブとは？

関西IT活用企業百撰  
とは？

ITちょっとアドバイス  
とは？

F A Q

IT百撰アドバイザー  
専用

### ▼ 関西IT活用企業百撰の募集

■ [関西IT活用企業百撰応募募フォーム\(2003年度\)](#)

■ [「百撰」にこめられた思い](#)

■ [関西地域の定義](#)

■ [関西IT活用企業百撰入撰事例\(2003年度\)](#)

■ [関西IT活用企業百撰入撰事例\(2002年度\)](#)

■ [関西IT活用企業百撰入撰事例\(2001年度\)](#)

■ [関西IT活用企業百撰\(2003年度\)](#)

アイウエオ順

地域順

■ [関西IT活用企業百撰\(2002年度\)](#)

アイウエオ順

地域順

### ■ 2003年度関西IT活用企業百撰事例

以下の9社をはじめとする、2003年度関西IT活用企業百撰、全61社様の取組みをご紹介します。

受賞企業・入選企業の皆様の素晴らしい取組みに対して心から敬意を表させていただきます。

ご推薦、ご応募にご協力頂いた皆様に心から感謝申し上げます。

最優秀企業

[昭和電機株式会社](#)

[東海バネ工業株式会社](#)

優秀企業

[株式会社共伸技研](#)

[株式会社後藤回漕店](#)

[株式会社小堀](#)

[株式会社サポート](#)

[株式会社ジェイ・エス・エル](#)

# テレビ番組でITコーディネータ活用企業が放映

テレビ東京系列番組「企業未来！チャレンジ21」  
で1月31日(土)に全国ネット放送



ITコーディネータを活用して成功した企業  
「昭和電機(株) 柏木社長(大阪府大東市)」  
を取材

# 日本経済新聞にITC活用企業の事例が掲載

【全国広告】 日本経済新聞 2003年(平成15年)12月12日(金曜) 第2版 2A

認識しよう！情報資産の価値  
企業の情報資産を守るためには  
NEMCON'03

「ITコーディネータ」協会  
佐伯 祐一氏  
「ITコーディネータ」協会の活動は、企業の情報資産を守るために、ITコーディネータの活用を推進している。佐伯氏は、ITコーディネータの活用が、企業の情報資産を守るために、非常に有効であると述べている。

最高品質の製品とサービス  
ITは戦略実現のツール

「ITコーディネータ」協会  
渡辺 隆二氏  
「ITコーディネータ」協会の活動は、企業の情報資産を守るために、ITコーディネータの活用を推進している。渡辺氏は、ITコーディネータの活用が、企業の情報資産を守るために、非常に有効であると述べている。

業務革新のソリューション

12月12日(金)朝刊第二部  
「ITと経営革新」特集  
発売部数:300万部

ポリシーと目標を  
管理する仕組み

日本経済新聞主催  
講演会+記事掲載

ITコーディネータを活用して経営改革を実現した、  
「東海バネ工業(株)(大阪市)」渡辺社長と  
ITコーディネータ佐伯氏の講演を掲載

◆バネ・ばね・スプリングの事なら昭和9年創業の東海バネ工業株式会社へ



**東海バネ工業株式会社**  
Tokaibane Mfg.Co.,Ltd



TEL 0120(262)089  
FAX 0120(262)016

心と技術で世界に誇るバネ創り

トップ

会社案内

製品紹介

納入事例

情報システム

Q & A

リンク集

ばねのはなし

▶▶ バネ・ばね・スプリングの東海バネ工業株式会社は、[ISO 9001 & 14001 認証企業](#)です。

●[お気に入り登録する](#)

## ばねDesign

バネ設計に関するお問合せ

### ばねオーダーメイド

ご希望のバネを製作いたします。

### バネ何でもサポート

バネの事なら何でもお問合せください

ばね検討支援ソフト



東海バネ工業株式会社

東海バネオリジナル  
バネ検討支援ソフト  
「だぎゃー2000」(xls.97)



**Tokaibane.com**

Coil spring  
i-MC Spring  
Disc spring

東海バネNEWキャラクター“ばねっと君”

**バネの事ならお任せあれ！**  
**心と技術で世界に誇るバネ創り**

大型から小型までフルオーダーメイドで  
あらゆるバネのニーズにお応えいたします。

- 信頼された技術力でお客様をサポート！
- 多品種微量生産体制
- シェアNo.1もある



▶ [詳細はこちらから](#)

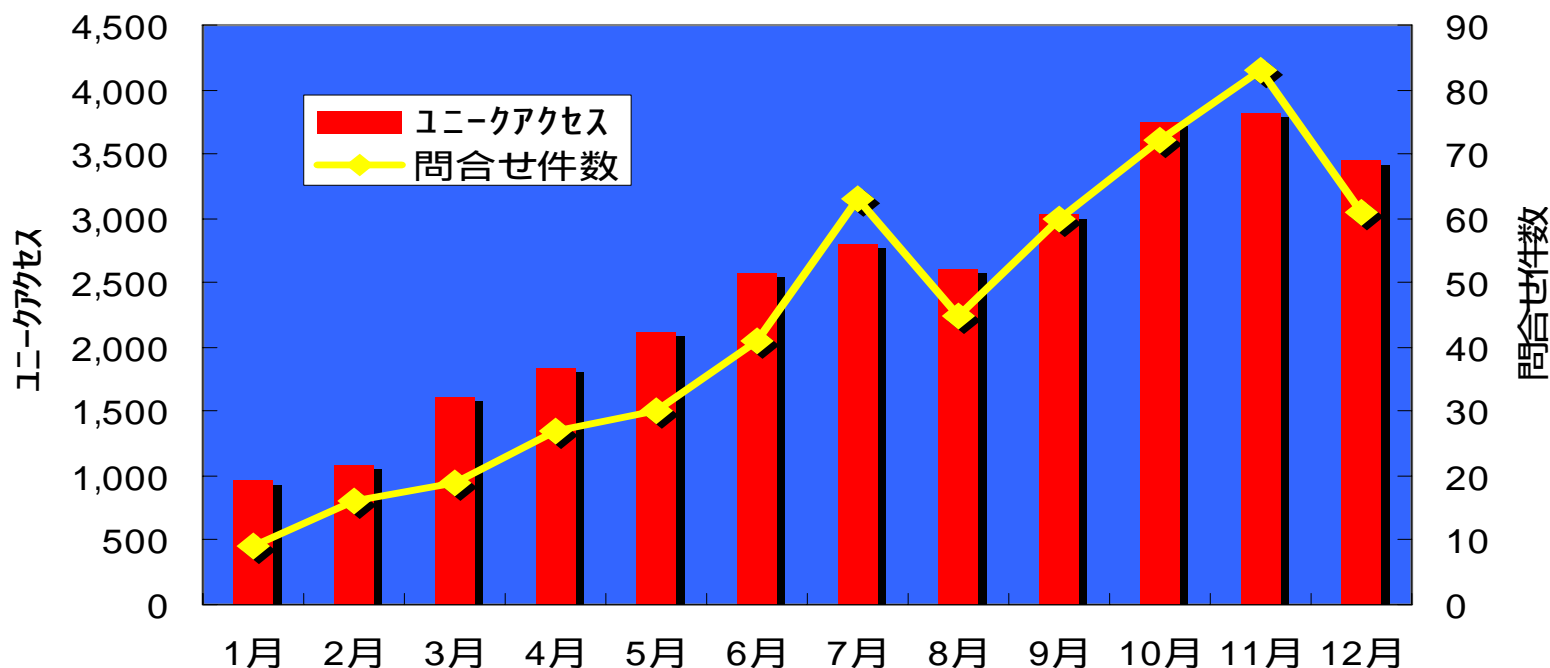
## 2003年度の成果

- 1) 新規顧客受注金額: 約3千万円  
新規顧客開発数: 106社
- 2) 年初在庫金額の削減率: 17%

更に成果拡大  
中!

IT投資額は  
僅か300万円

03年ユニークアクセス・問合せ件数推移



# 「日経BPガバメントテクノロジー」特集に掲載

2004年春号

第3部

## 見積もり金額を精査せよ！

民間のノウハウを導入してシステム統合

民間の人材の力を借りることで、合併のシステム構築費用の削減に取り組んだ自治体がある。2003年2月3日に、旧・新市町（人口約2万2000人）／旧・内海町（約3400人）との編入合併を終えた広島県福山市だ。

### あいまいな基準を排除し コストを大幅削減

福山市で旧・新市町と旧・内海町との合併の議論が始まったのが2001年10月頃。翌2002年1月には法定の合併協議会を設置。同年2月8日に福山市の現場職員と情報政策課で電算統合部会を開き、システム統合の作業がスタートした。既に合併期日まで1年を切っていた。

限られた時間の中で福山市は、2001年4月から非常勤嘱託として市民病院でのシステム導入の支援をしてい

合併期日が10カ月後に迫った2002年5月、福山市と中山氏は、システムのコスト見直しとプロジェクトの体制作りを並行して進めなければならなかった。

コスト見直しを行わなければならなかったのは、受け取った福山市のシステム改修の見積額が問題となったからだ。当初ベンダーが提示してきた金額は約18億円。以前視察した新潟市に比べて2倍近い額だった。

ベンダーからはシステムの違いなどの説明を受けたものの、新潟市と福山市では、編入する自治体からの移行データ量がほぼ同規模で、編入する自治体と同一ベンダーのシステムを利用している状況（福山市と新市町）なども似ていた。そのため、中山氏とも相談し、見積もりを精査することにしたのである。

精査の結果、冠婚葬祭の担当者と

システム開発費用を、当初の予算額である10億3000万円に抑えた。

ここからさらに、福山市は約1億円のコスト削減に成功している。福山市独自でシステム開発費用を算出する基準を作り直し、合併のシステム統合に適用したからだ。

それまでのシステム構築では、た

民間のノウハウを導入

見積もり金額を精査し

システム統合費用を  
約1億円も削減

ITCが2002年より業務受託

日経BPガバメントテクノロジー Webページにも掲載中

<http://premium.nikkeibp.co.jp/e-gov/case/2004/case44a.shtml>

ITC中国

<http://www.scals.co.jp/ITC/itc-chugoku/>



アキュア・コンサルティング社長  
中山 章（なかやま・あきら）氏

全国メーカーの情報システム子会社を経て1999年5月にアキュア・コンサルティングを設立。前職は主に生産管理システムの開発・運用を手掛けた。2001年10月にITコーディネータの資格を取得。2001年度から、前任者に代わって福山市の情報システム導入を支援。2002年5月から合併によるシステム統合作業の支援も行う。業務量の増加に伴い、同年7月からは福山市との契約を非常勤嘱託から業務委託に変更。

## 広島県福山市役所

### 福山市（広島県）

合併日：2003年2月3日  
合併形式：編入合併  
人口（2003年4月1日）：1,407,934人  
面積：430.30km<sup>2</sup>  
旧市町村名：福山市、内海町、新市町  
電算システムの統合：福山市のシステムに統合

# 適正価格でのIT調達支援

民間の手法を採用して

## 広島県福山市役所

行政におけるIT化の調達に際しては企業の場合以上に客観性や透明性が求められるとともに、適正なコストによる最適なシステム導入が必要との考えから、外部専門家としてITコーディネータを採用。(ITC中国に所属する中山章氏)

平成15年度の市町村合併時、当初予定されていた**システム統合費用を約1億円も削減**するなど顕著な成果をあげ、議会でも高い評価を受けている。

(平成13年度:非常勤嘱託職員、平成14年度～15年度:業務委託、平成16年度も継続中)

\*ITコーディネータの主な業務内容

・提案依頼書(RFP)の作成支援、提案書・見積りの評価、開発・運用進捗管理ほか

(参考)広島県三原市でも、平成14年度より広島ITC協同組合に同様の業務委託を行っている。

## 長野県庁

長野県庁はITC長野に対して平成15年度から「長野県庁内IT調達適正化事業」の支援業務を委託してきており、特に平成16年度は一定額以上の案件に対し、ITC長野指定で案件の評価・監理またはプロジェクト支援を委託する計画となっている。

ITコーディネータは外部専門家として中立な立場(公平、公正、透明性)が評価されており、15年度では**導入予算削減(平均 10%)**、調達方法の見直しなど具体的な成果があがっている。

# 地域情報化の支援

戦略的な地域活性化計画、IT化施策立案から職員研修まで

## 北海道長沼町

(人口:1万3千人、北海道中央部、主要産業:農業、観光)

「**地域公共高速ネットワーク**」を活用した**農村部**の地域活性化と事業者誘致の**モデル**を推進。

農水省、総務省、町単独事業などを合わせて、総事業費約29億円をかけて構築した、高度情報通信基盤による情報活動「**まおいネット**」(the **M**essage **A**pplication on the **I**nformation **N**etwork)を推進する外部専門家ITアドバイザーとして、平成13年より現在までITコーディネータほか8名を起用。

基盤整備段階の調達支援から、情報基盤の積極的な利活用のまでをアドバイス。企業組合を設立してネット販売を開始する農家のグループや、空港からの近さとSO-HO基盤を利しての積極的な誘致により現在では陶芸家や作家などの芸術家や文化人の移住も進んでいる。

## 市町村合併に伴うシステム統合支援

—地元に根づく支援をしてほしい、**できれば地元の企業を使いたい**—

## 秋田県内

(千畑町、六郷町、仙南村の3町村合併に伴う業務システム統合)

合併人口:約2万4千人(千畑町/せんはた、六郷町/ろくごう、仙南村の合計)

合併予定:2004年11月(現在進行中)、(2003年からITコーディネータが支援を開始)ITコーディネータは、ほか2名の東京のコンサルタント企業からの出張者とチームを組み、システム統合に関する導入方針の策定支援、仕様決め支援、プロジェクト管理等、システムに詳しくないユーザー(合併協議会)とベンダーの間に立ってプロジェクトをコーディネート。2004年4月からは、地元のITコーディネータ3名で、引き続きプロジェクト管理を中心に円滑なシステム統合を支援している。ITコーディネータは、元地元ベンダー企業の社員で、自治体向け業務を担当していたが、ITC資格取得を契機に独立して当業務を請け負うことになった。

# 「2004北海道IT活用撰集」でITCが受賞

北海道IT活用  
ベスト・コーディネート賞  
＜顧客に対し協力的な支援をしたITコーディネータ＞

ITコーディネータ 佐々木 身智子



## ◎プロフィール

所 属 インフォネット株式会社 IT事業推進部執行役員  
所 在 地 〒060-0033 札幌市中央区北3条東2丁目2  
通 信 先 TEL011-207-3201 FAX011-207-3205  
ホームページ <http://www.informet.co.jp>  
経 歴 昭和57年 日本電気ソフトウェア(株)(現NECソフト(株))入社  
平成2年 インフォネット(株)入社、現在に至る。  
平成13年 システムアナリスト合格  
平成14年 ITコーディネータ認定

## ◎事業とIT活用の概要

現在、インフォネット(株)に在籍する佐々木氏は、今回の応募事例である(株)基べい、コロンセナルサービス(株)、ハウジングオペレーション(株)の3社に対し、「フロントライン強化のためのIT化」に主眼を置いた精力的な提案やコンサルティングを行い、大きな成果を上げるとともに厚い信頼を得ている。それがベスト・コーディネート賞としての表彰のポイントとなった。

フロントラインとは、企業が顧客と直接かかわる営業やサービスマン、そしてコールセンター(電話応対)を指す。これらは、企業にとって信用と利益を成り立たす重要な部分でありながら、システム構築において往々にして後回しにされてきた。佐々木氏は、「これまでのシステム構築は、ほとんどが自社の定型業務の効率化を目指してきたものであり、結果確定後の処理でしたが、これからの企業が生き残りをかけて考えなくてはならないのは、このフロントラインの強化・独自性・効率化にITをどのように活用できるかだと思います」と強調する。

また、上記の事例3社については、「異なる業種の企業ですが、共通しているのはお客様の声に真摯に耳を傾け、それを生かそうと

している企業である」ということ。顧客満足度をいかに高めていくかという部分に、積極的にITを活用されている例です。ぜひ参考にしたいのだと思います」とコメントする。具体的なコーディネート内容は、各社の活用事例紹介のとおりだ。

佐々木氏がこうした活動を積み重ねてこられたのは、在籍するインフォネット(株)の事業方針と支援体制が整っていることが幸いしていることだという。しかし、ITコーディネータ自体、まだまだ認知度が低く、十分な活動の場を得られていないのが実情である。佐々木氏は、「ぜひとも関係各県庁や各団体に、企業とのマッチングやITコーディネータの認知度向上の機会を増やしていただきたいと思います」と結んだ。

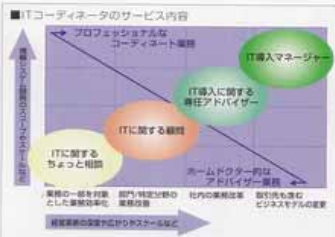
## ●受賞のポイント●

●「フロントライン強化のためのIT化」の重要性を主眼に  
精力的な提案やコンサルティングを行った。

## ITコーディネータとは？

経営とITを結び経営者の立場でIT投資をサポートする専門家です。

- ビジョン・目標の確立** 「社長の思い」をもとに、企業革新を実現する経営のビジョン、経営目標を見出す
- 経営課題の明確化** 目標を達成するためには克服すべき経営課題を明らかにし、成功に導く要因をえる
- 情報化企画と業務改善** IT化により解決すべき課題の情報化企画と同時に推進すべき業務改革の実行
- ベストプラクティスからの学習** 世界の多くの成功事例(営業法、生産、物流、サービスの改革)を参考にする



# 北海道の経済団体が選出した「IT活用撰集」で、ITCが「ベスト・コーディネート賞」を受賞

主催：札幌商工会議所、北海道経済連合会、北海道商工会議所連合会

# ITC北海道

<http://www.itc-hokkaido.org/>

# 中央官庁でのITC起用ほか

## 中央省庁CIO補佐官25人の内、4人がITコーディネータ

本田 実 : 内閣府、内閣官房	三井情報開発 総合研究所コンサルティング部専門部長
川合浩司 : 内閣法制局	(元) 横河電機情報システム部長
喜入 博 : 金融庁	KPMG ビジネスアシュアランス顧問
丸山文啓 : 文部科学省	インターナショナル・ネットワーク・セキュリティ技術本部長代理シ



## 民間からITC資格者が情報担当に採用

農林水産省(情報担当企画官)、総務省

## 入札資格要件にITCが加えられた

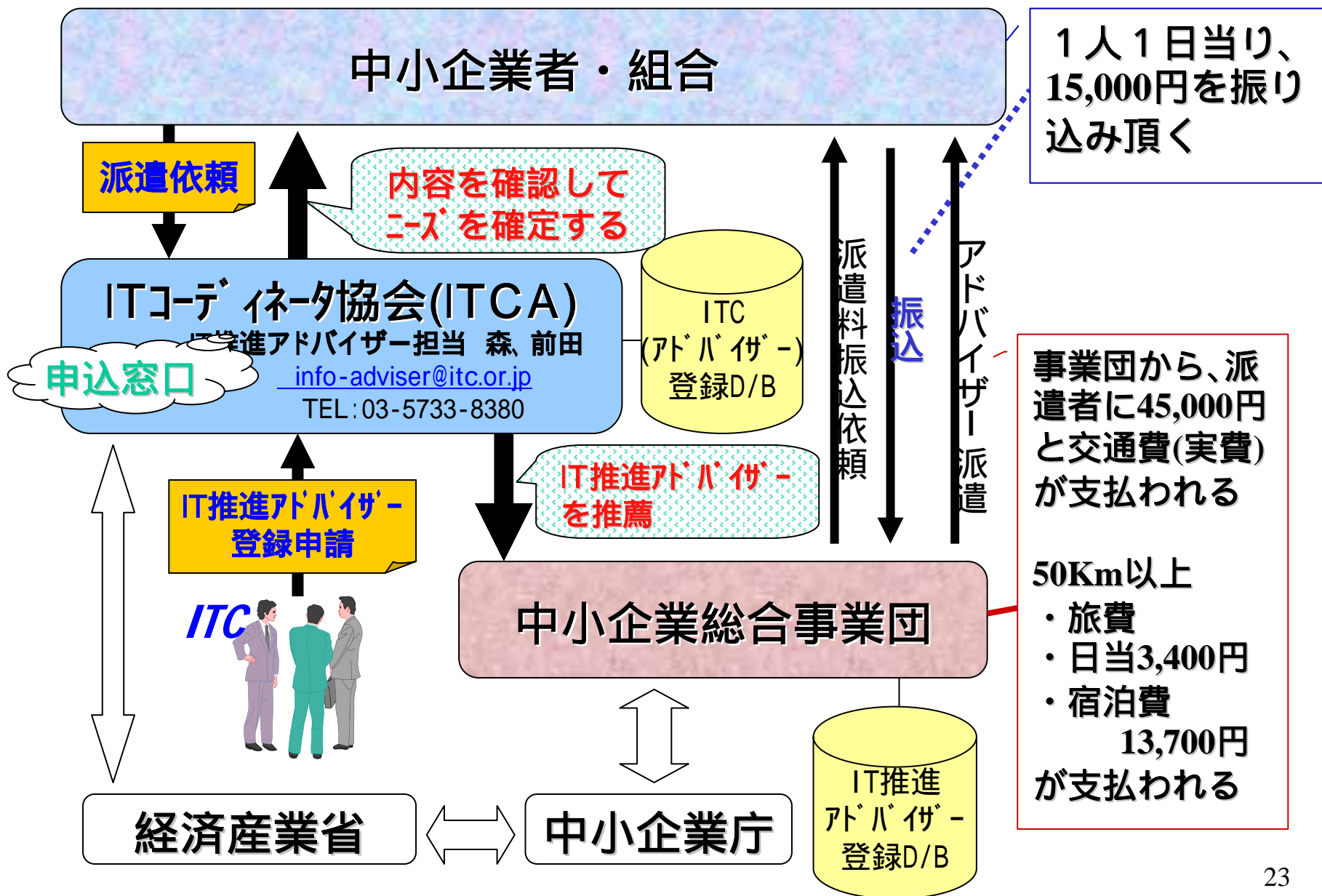
農林水産省: 「旧式(レガシー)システム刷新可能性調査業務」(2003年10月9日説明会実施)

日本郵政公社: 「郵政総合情報通信ネットワークシステムの利用システム等接続試験の委託」  
ほか2件) 2004年3月24日公告 ほか、日本道路公団など

### 3) 施策の活用

ITコーディネータは施策推進・活性化の人材

# IT推進アドバイザー派遣制度(中小企業基盤整備機構)



# ITC協会が窓口になり利用者が大幅に増加！

## 活用実績：件数の大幅増と質の変化

	2001年度	2002年度	2003年度	対前年比
全派遣件数	124	271	671	248%
<u>ITC派遣件数</u>	<b>16</b>	<b>191</b>	<b>457</b>	239%
協会窓口件数	0	34	236	694%



**経営者から協会への  
直接電話相談が増加**

**2003年度実績：ITC派遣件数は対前年比2.4倍**

**依頼内容：IT投資までの相談案件が増加し平均派遣回数が増加**

### 企業規模の拡大傾向

依頼の大多数は小規模企業からのものであったが、最近では中規模企業からの依頼も増加。同時に依頼内容が複雑化。

### リピート案件が増加(平均派遣回数5回)、IT投資までの継続相談

アドバイスを求める案件から、具体的なIT投資を実現するまでの進め方を求める案件が増大。  
1～2回の相談では意味が無く、10回程度の訪問事例もあり、平均派遣件数は5回程度となった。

### 具体的な経営革新プロセスの案件

各種のコンサルを受けている企業からの相談も増加(従来のコンサルとは異なる視点からの成果を期待)

# IT活用型経営革新モデル事業

【内容】ITを活用した経営革新に有効なビジネスシステムの調査研究及び開発導入事業

平成16年度採択件数(予算11.8億)

補助率:対象経費の1/2

補助金の規模

\* 事前調査研究 100 ~ 500万円

\* 経営革新支援(プログラム開発等)  
300万円 ~ 3,000万円

ITCが経営者に紹介し、  
積極的に応募

うち18件がH15年度までの  
ITSSP事業参加企業

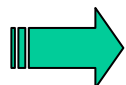
経済局	採択件数	内ITC
北海道	14	9
東北	4	3
関東	24	13
中部	9	7
近畿	16	11
中国	16	7
四国	3	2
九州	6	4
沖縄	1	0
合 計	93	56

ITC関与比率60%以上

# 中堅・中小企業のIT化を全国規模で後押し



## 応援隊募集中！

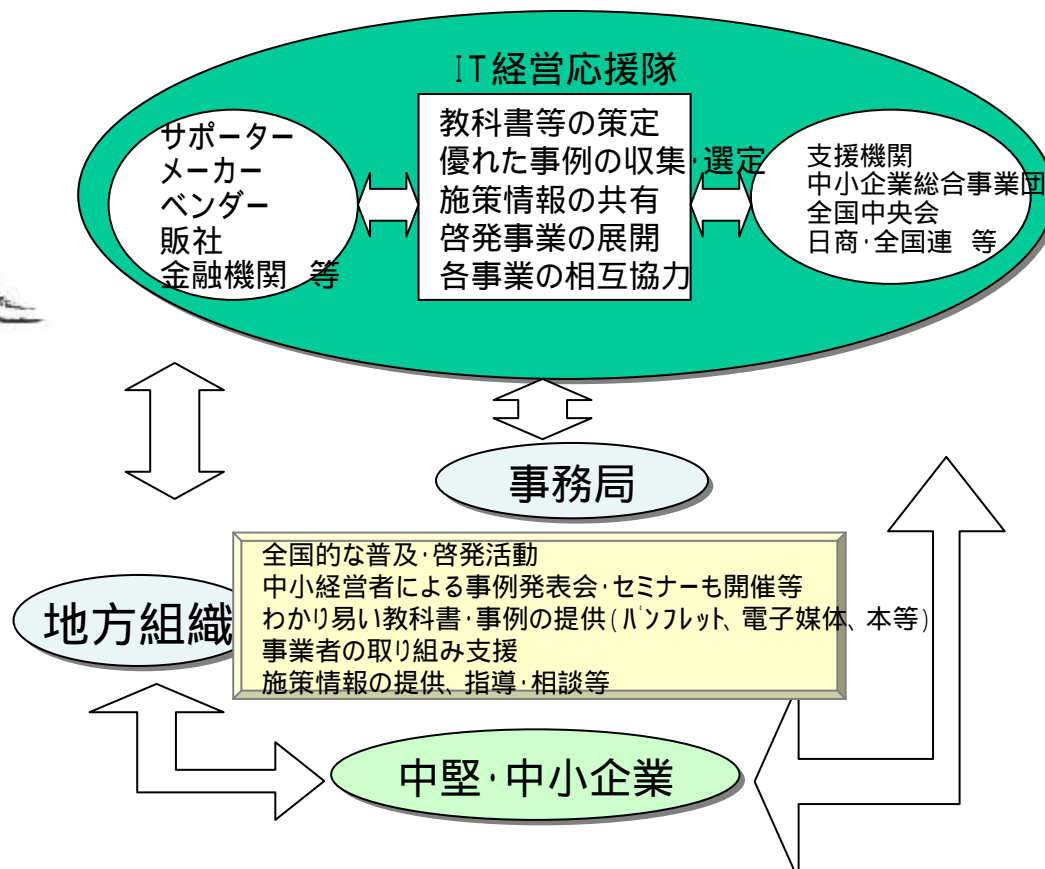


経済産業省IT経営応援隊事務局  
(IPA 03-5978-7506)

教科書作成、IT経営百選選考、セミナー・事例発表会、情報化に関する情報提供、公的支援策の情報提供、各経済産業局・地域毎の一体支援体制を確立 等実施

2006年度までの3年間活動推進

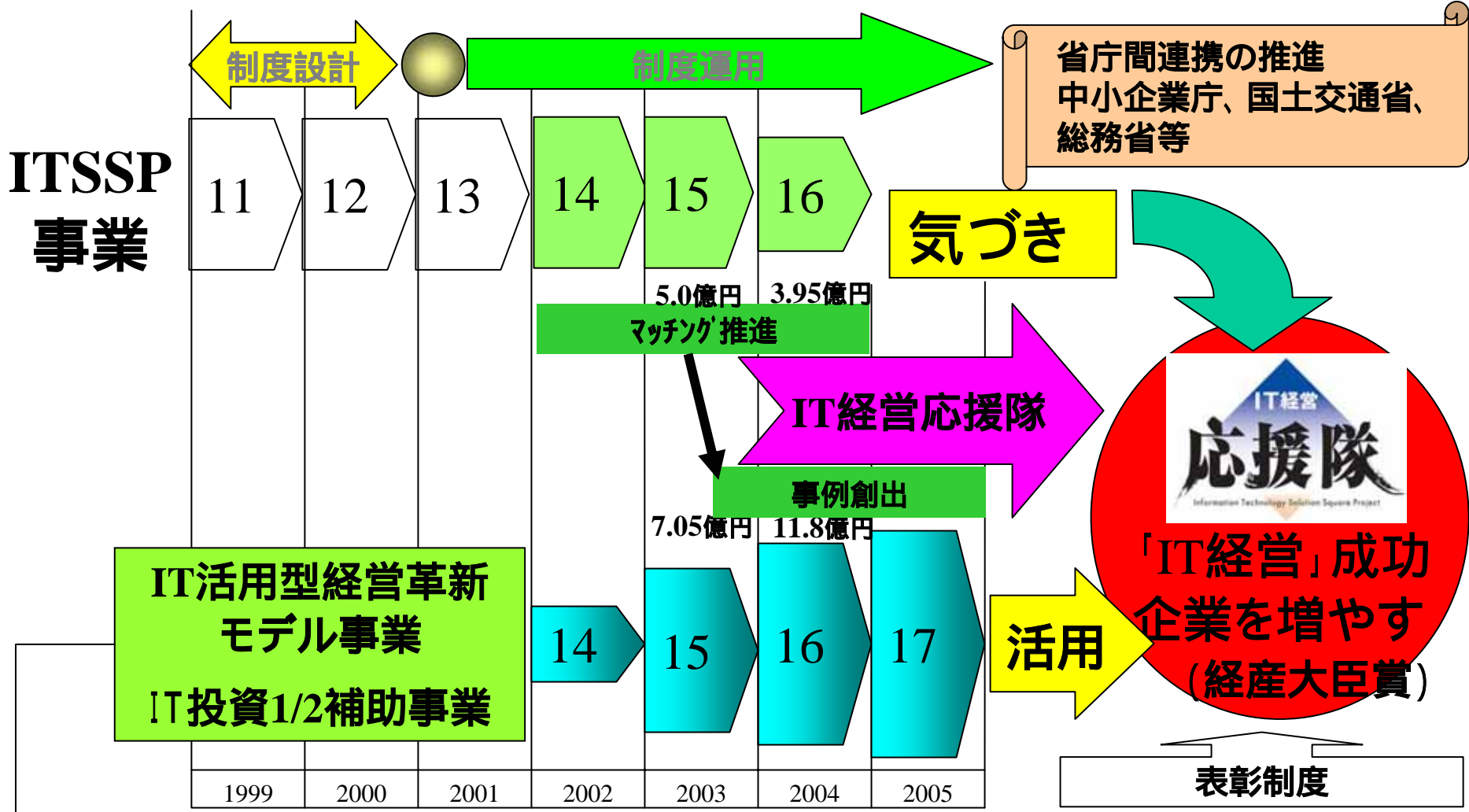
## IT経営応援隊の事業イメージ



ITC協会は「IT経営応援隊準備会」段階から本事業に参画し、現在、「IT経営教科書作成委員会」のシンクタンク並びに事務局の役割を受託し推進中

# 経済産業省の施策との連携「IT経営応援隊」

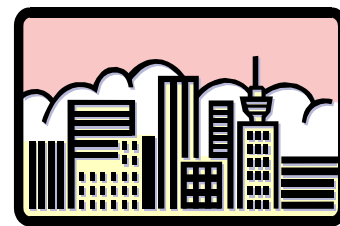
ITSSP(マッチング) IT活用型経営革新モデル事業等(事例創出)へ



# ITコーディネータ活動のフィールド



中堅中小  
企業



大企業

官公庁



商工団体  
金融機関



経済産業省  
公的機関  
ITC協会

止まり木  
(公的機関)



ITC組織



最後に

# ITコーディネータ成功の秘訣は？

ex.

北海道のITコーディネータ

大阪のITコーディネータ

兵庫のITコーディネータ

.....

# ITコーディネータ5,000名。

この中に、あなたの経営革新のパートナーがいる。



企業の発展を支える鍵がITの活用であり、今、求められているのは経営革新の豊富なノウハウとITへの深い理解を併せもったプロフェッショナルです。経済産業省推薦資格「ITコーディネータ」は現在5000名。経営者の要望に的確に応え、ビジネスチャンスの拡大をもたらし、投資効果の高い「儲かるIT活用」を支援する。経営者にとって最も身近で頼れるパートナーが、きっとこの中にいます。



事務局所在地 東京都港区芝公園1-8-21 芝公園リッジビル7F

TEL.03-5733-8380 FAX.03-5733-8388

[www.itc.or.jp](http://www.itc.or.jp)

ITC協会ホームページ  
<http://www.itc.or.jp>

< お問い合わせ先 >

e-mail: [info-pr@itc.or.jp](mailto:info-pr@itc.or.jp)

TEL.03-5733-8380(代)

FAX.03-5733-8388

〒105-0011 東京都港区芝公園  
1-8-21 芝公園リッジビル7F

ITコーディネータ協会

広報担当: 松下、多田、高橋